

# クリスロード商店街

「さて、クリスロード商店街にやってまいった。ところで、この『クリスロード』とはいってどういう意味なのじゃろう。さっそく調べてみるぞ」

「なにに、『Creative Life In Shopping』の頭文字を取り、そこに『road』を合わせた造語であったか。なかなかしゃれた名前ようう。……意味は各自で調べるように」

「謎の手掛けりのある場所は、どうやらこのうどん屋のようじゃ。ちょうど小腹もすいたところじゃ、謎を解いたらこの店でなにかいただくとしよう。もちろん、食事中は静かに。さすれば、今まで気が付かなかった味を発見できるかもしれぬぞ」

## 三瀧山不動院

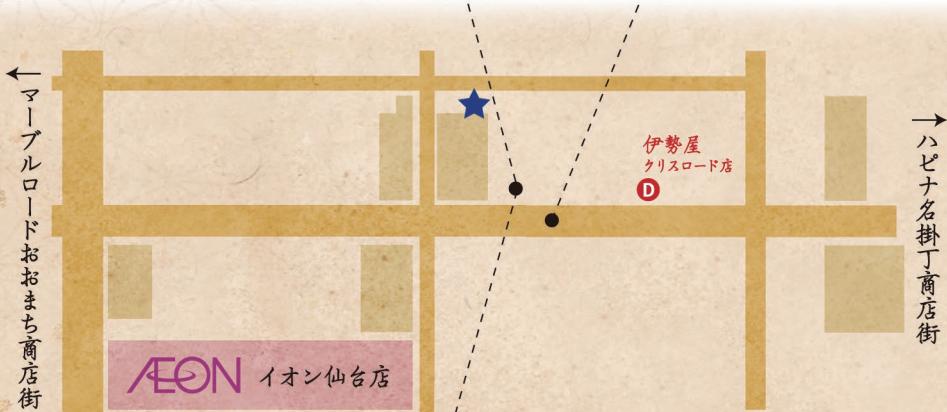


大日大聖不動明王をご本尊様として置かれ、西年生まれの守り本尊、眼の守護仏でもあります。手水舎や献香・献灯用の香炉も備えられ、街中にありながらも厳かな雰囲気が漂っています。本堂前の仲見世通りには、札場、開運を呼ぶ福の神「仙台四郎」グッズの販売所、仏具販売店、日本茶販売店が軒を連ねます。

## 路上の銅板



当時の中央二丁目青年向上会(現クリスロード青年向上会)が、設立45周年を記念し、昭和59年に新伝馬町と示したブロンズ板の旧町名碑を設立しました。約400年前、伊達政宗公が仙台を開府された当初は日形町と称していました。



## 仙台四郎



江戸時代末期～明治35年頃に仙台に実在した人物で、四郎がふらりと立ち寄つた店は必ず繁盛し、彼が抱く子供は丈夫に育つということから、商売繁盛を招く福の神として多くの人に愛されてきたという伝説があります。三瀧山不動院の奥の階段を上ると微笑む仙台四郎像がどつりと鎮座しているので探してみよう。

## 新伝馬町



荷物を出発地から目的地まで、同じ人や馬が運ぶのではなく、宿場ごとに交代して運ぶという方法を「伝馬制」といいます。藩政時代、公的な書状や荷物の輸送のために馬や人足が置かれて、国分町や北目町に統いて、「伝馬役」という役割を果たすようになったので、新たな伝馬の町、新伝馬町(しんてんまち)と呼ばれるようになりました。

## クリスロード(CLIS ROAD)のネーミング

“Creative Life In Shopping”(クリエイティブ・ライフ・イン・ショッピング)の頭文字を取り、“road”(ロード)を合わせた造語です。平成4年に“いい気分で過ごす街、生活創造ストリート”をコンセプトに上げて、新しいアーケードの完成とともに新しく名付けられました。



## 仙台空襲を記憶する場



昭和20年7月10日に123機の米爆撃機B29が仙台市中心部を夜襲した「仙台空襲」。米軍が焼夷弾投下の目標にした「爆撃中心点」が今のクリスロード商店街と東三番丁通りが交差する辺りでした。この「戦災の記憶を次世代に伝えたい」と、空襲経験者である市民有志が発起し、戦後75年を迎えた令和2年7月に桜井薬局ビルの協力で1階の壁面にプレートが取り付けられました。



片倉 小十郎景綱  
かたくら こじゅうろう かげつな  
伊達三傑・智の武将

店の外に掲げられている、  
下の図と同じ配置の提灯と板に書かれたお品書きを見よ。  
板に書かれたお品書きの文字数を数え、次の指示にしたがえ。

- 左上の「や」をゼロ文字目とし、矢印の方向へ文字数の分だけ進み、文字を読み。
- 最初は一番左の板の文字数、以降はひとつずつ右の板の文字数の分だけ進め。
- 例として、一番左の板の文字数は「6」なので、6マス進み、その場所の文字は「い」となる。
- すべての板の分だけ進め。マスは周回してもかまわない。

や	ぶ	き	×	び	じ	い	ろ	ふ	た	ん	け	す	ひ	や
ち	は	や	え	す	一	よ	じ	り	え	た	き	び	ひ	い
お	天	ふ	ら											
でん	ぷら	よ	じ											
刺身	焼鳥	+	じ	か	た	び	じ	ん	ま	さ	み	か	た	び

こたえ  6